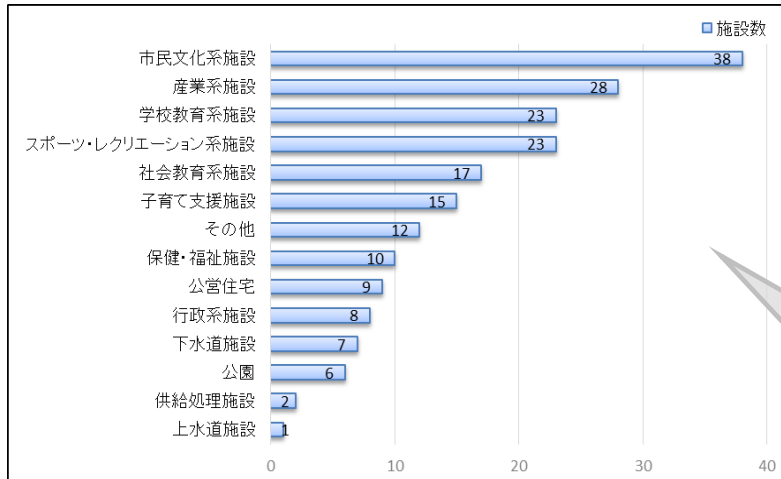


小諸市公共施設白書のポイント

小諸市は、平成 28 年 3 月に「小諸市公共施設白書」¹を公表しました。本編 40 頁、資料編 419 頁のうち、特に重要なポイントについてお伝えします。

① 小諸市が保有する施設の総量

小諸市が保有する施設の、分類別保有数は下図のとおりです。



施設数：204 施設

棟数：799 棟

総延床面積：18.6 万㎡

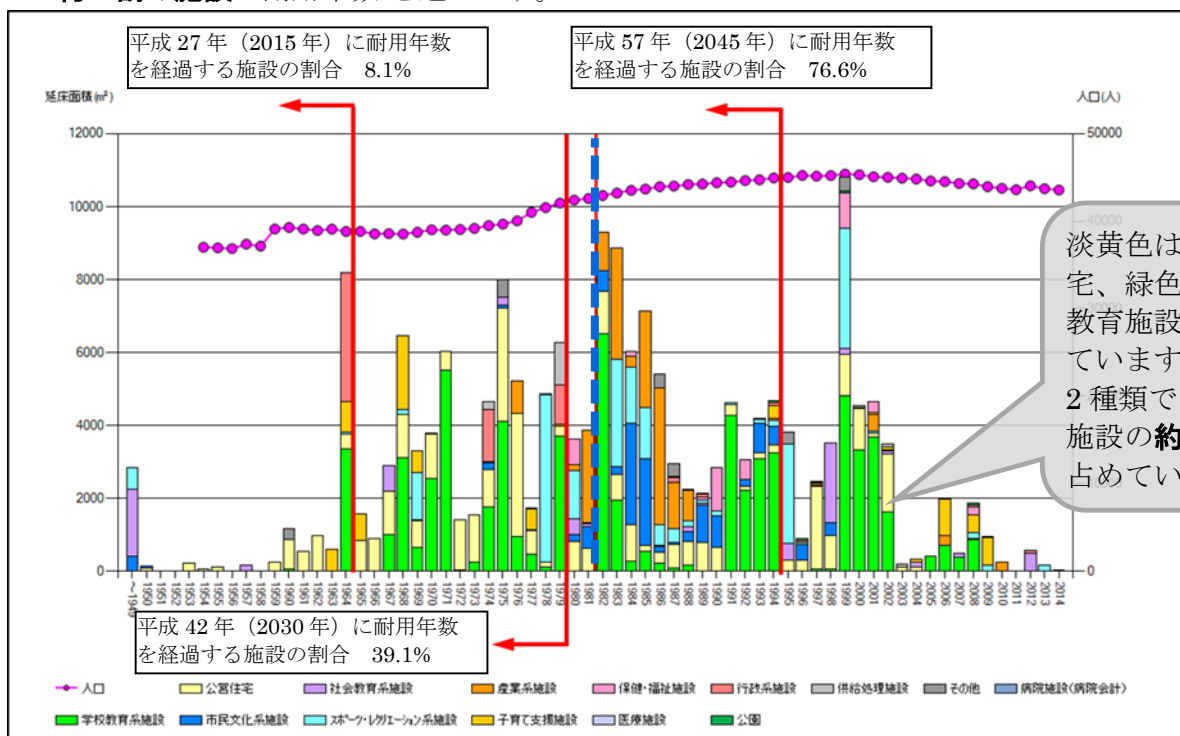
- ・普段から利用されている施設は、いくつありますか。
- ・小諸市は、これだけたくさんの公共施設を保有しています。

② 公共施設の老朽化

小諸市が保有する施設の、年度別整備延床面積及び老朽化の状況は下図のとおりです。

・小諸市の公共施設の中で、旧耐震基準で建築された施設は**約 44%**（延床面積割合）です。（上図の中で中央の青線より左は、旧耐震基準によって建築された施設を表します。）

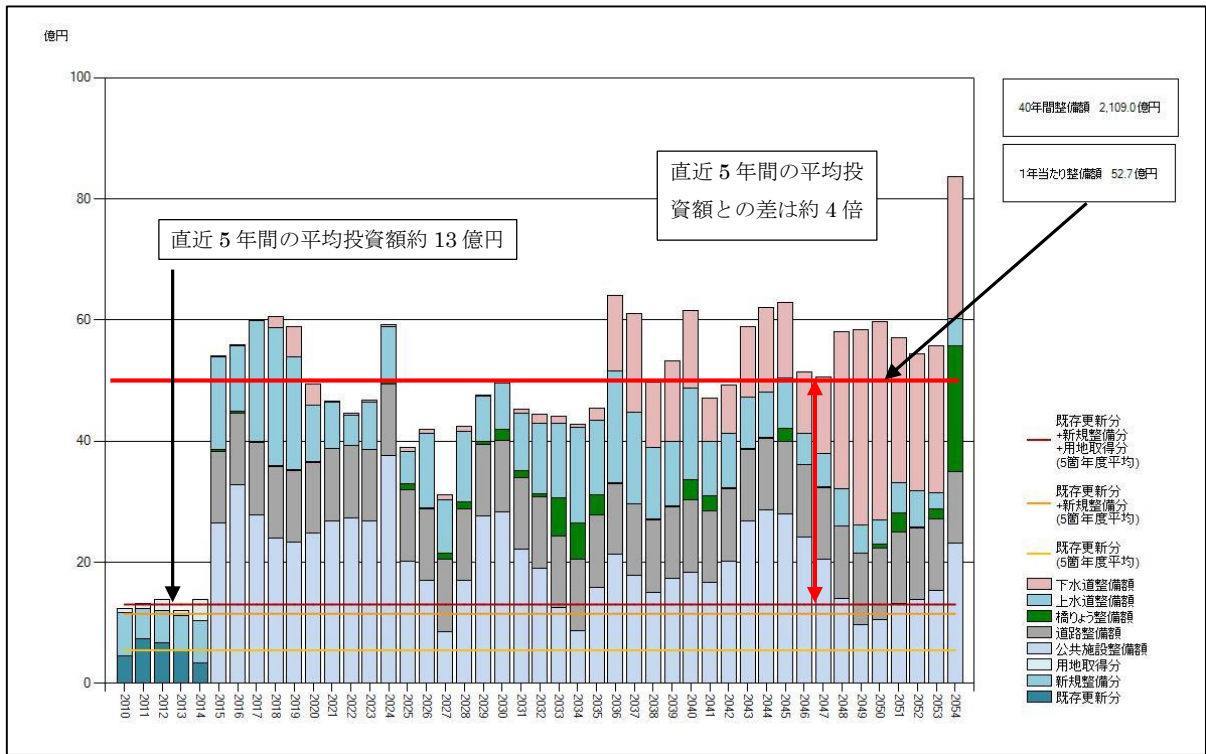
・公共施設の老朽化は、全国的な課題となっています。小諸市でも 15 年後の平成 42 年には、**約 4 割の施設**が耐用年数²を迎えます。



¹ 公共施設の施設数等は全て平成 27 年 3 月末日付けの保有量です。公共施設白書は、小諸市ホームページ、市立小諸図書館、市役所財政課で閲覧できます。

² 公共施設白書では、建物の耐用年数を法定耐用年数である 50 年として計算しています。

小諸市が保有する公共施設及びインフラ施設を合わせた全体更新費用の試算結果



- ・公共施設と上下水道施設や道路・橋梁といったインフラ施設を合わせた、整備費用の総額は、**今後40年間で約2,100億円**という試算結果³となりました。小諸市の一般会計が約165億円前後で推移しており、比較すると約13倍にも上ります。
- ・整備費用総額を1年当たり直すと、年間整備費用は**約53億円**です。直近5年間の平均投資額は**約13億円**⁴なので、その差は**約4倍**にも上ります。

ポイント

- ① 大量に保有している公共施設の老朽化が進んでいます。
- ② 全施設を、再整備するためには巨額の費用が必要です。

現在の財政状況では、全施設を維持することは困難な状況です。

今までの、管理・運営方針を見直し、本当に必要な施設（行政サービス）、を継続して運営できる仕組みが必要。

そこで、「小諸市公共施設等総合管理計画」を平成28年度中に策定します。

この計画は、「将来に渡り必要な行政サービスを、継続して提供する。」ために、公共施設等の長期的な維持管理・運営方法に関する方針を定めるものです。

※公共施設の現状や更新費用の詳細については「公共施設白書」をご覧ください。

³ 試算には、(一財)「地域総合整備財団」が提供している、「公共施設更新費用試算ソフト (Ver.2.10)」を使用しました。

⁴ 市庁舎、図書館・市民交流センター、新ごみ焼却施設に要した経費は除く。